

！今月の注目情報

障がい児・者の緊急時の支援をはじめました

市では、障がいのある方の「高齢化」「重度化」「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、地域全体で支えていく仕組みとして『**栃木市 くらいしいじネット**』を構築しています。そのなかで、事前の登録により、障がいのある方が、介護をしている方の病気・入院などで支援が緊急的に必要になった場合、**障がい児者相談支援センターが24時間受付やコーディネート**を行い、市内の民間事業所と連携して、短期入所やヘルパーによる支援ができる体制を整えました。

対象

市内にお住まいの障がいのある方で、介護をしている方の状況などにより、緊急の支援が必要になる場合のある方

支援期間

最長で7日間

※支援期間内に、関係者で今後について協議し、再発の予防や継続した支援を検討します。

登録方法

担当の相談員がいる場合は相談員、相談員がいない場合には、左記へご相談ください。

問合先

障がい福祉課(障がい児者相談支援センター) ☎(21)2219



緊急的に支援が必要な方

例：母と二人暮らしのAさんご家族。
知的に遅れがあり、一人では自宅で過ごせない。母が急な体調不良で入院するが、親戚は近くにいない。



「Aさんを介護する人がいなくて困っています」



短期入所施設 ヘルパー事業所

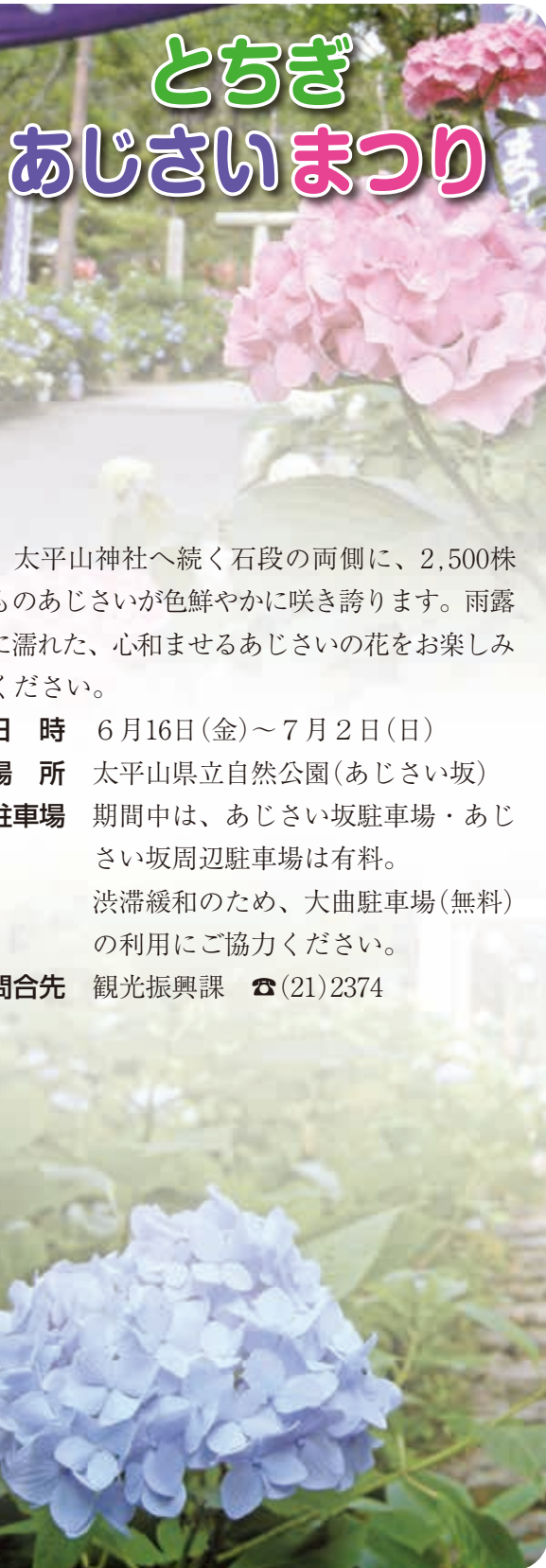
障がい福祉課(障がい児者相談支援センター)

緊急時支援で短期入所の利用が必要!

④利用・支援

②状況確認

③コーディネート



とちぎ あじさいまつり

太平山神社へ続く石段の両側に、2,500株ものあじさいが色鮮やかに咲き誇ります。雨露に濡れた、心和ませるあじさいの花をお楽しみください。

日時 6月16日(金)～7月2日(日)

場所 太平山県立自然公園(あじさい坂)

駐車場 期間中は、あじさい坂駐車場・あじさい坂周辺駐車場は有料。

渋滞緩和のため、大曲駐車場(無料)の利用にご協力ください。

問合先 観光振興課 ☎(21)2374

市長通信



平成29年度の主な事業①

市民の皆さん、こんにちは。

新緑も日に日に濃さを増し、初夏の日差しのみぶしさを感ずる季節となりましたが、間もなく長雨の時期を迎える今日この頃でもあります。市の花でもあるあじさいが市内各所を彩り、豊かにはなやぐ様子を、今年も皆さんと共に楽しめたらと思います。

さて、今回から3回にわたって、市の本年度の事業の中から主なものをご紹介します。

市政運営の指針を定めた市の最上位の計画である「栃木市総合計画」は、7つの基本方針によって構成されていますが、本年度の事業についても、この7つの方針に沿ってご紹介をしたいと思います。

今回は、基本方針の1と2より、4つの事業を紹介いたします。

【基本方針1 かけがえのない自然に優しいまちづくり】

●住宅用太陽光発電システム設置費補助事業 [30,000千円] 拡充事業

市ではこれまで、地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電システム設置の補助を行ってきました。今回は新たに、電力安定化の効果が期待される「定置型蓄電池」の設置に対する補助メニューを追加します。

●ごみ分別アプリ事業 [270千円]

新規事業

栃木市のごみの出し方に特化したスマートフォン用アプリを導入します。

これにより、家庭ごみ・資源の分別や出し方などを簡単に調べられるほか、ごみ収集日のお知らせ機能など、ごみに関する便利な情報をお届けします。

【基本方針2 心地よく暮らせるまちづくり】

●生活道路舗装補修事業 [200,000千円]

新規事業

市民の皆さんからご要望の多い、生活道路の補修・改良のうち、本格的改良とは別に補修だけを別枠で、計画的に実施していくための事業です。本事業では、市内の生活道路の簡易舗装箇所の補修を、市内を20地区に区分して実施していきます。

●定住促進支援事業 [97,137千円]

拡充事業

これまでのまちなか定住促進住宅新築等補助金、多世代家族住宅新築等補助金、まちなか宅地開発奨励補助金に、結婚新生活支援補助金を加え、市内全域における定住人口の増加を目指します。

また、宿泊体験施設「蔵の街やどかりの家」に加え、新たな宿泊体験施設の整備や移住定住ツアーを実施し、観光者や移住希望者等の交流人口の増加を図ります。

続きはまた来月お話をいたします。

栃木市長 鈴木俊美

栃木ケーブルテレビで市長通信を放映しています。